

R I 2640 地区 5 クラブ(高野山・河内長野高野街道・橋本・粉河・岩出RC)合同例会 報告

日 時：2017年4月27日(木)12:30~14:00

場 所：根来・一乗閣 (旧和歌山県議会議事堂)

◎ 開会のことば 実行委員長 三星達男



本日は新緑に包まれたねごろ歴史の丘での5クラブ合同例会に平日にも関わりませず、またご多用の中ご出席頂き有難うございます。今日の交流が会員の親睦と各クラブの絆が尚一層深められることと願っております。尚、例会開催には皆様のご協力と友情に深く感謝申し上げますと共に歓迎申し上げます。最後まで宜しくお願い致します。昨年の旧IM4組会長幹事会において本年度合同例会担当クラブを岩出RCにご指名預かり、その後直ちに実行委員会を設け準備を進めて参りました。開催場所、例会内容、予算等を委員会で十分に諮り、本日の例会内容に決定させて頂きました。本日は留学生を対象とした「青少年による発表」をテーマとしての卓話、もう一つは例会場を旧県議会議事堂(一乗閣)で開催することとなりました。「青少年による発表」は次年度派遣学生の津村理子さん、受入学生ソフィアさん、留学経験者ミンザック・珠代さん、米山奨学生の李江鎬さんの4人の留学体験発表を聞いていただき、生徒が如何に大きく成長しているかを感じ取っていただければ幸甚です。最後に今日の発表にご理解頂きました学校関係者と生徒にお礼申し上げます。ではこれより5クラブ合同例会を開会します。

◎ 歓迎のことば 岩出RC会長 芝田豊和



本日は、この由緒ある旧県議会議事堂であります一乗閣に福井隆一郎ガバナーをお迎えしての5クラブ合同例会を開くことが出来ました。皆様のご協力と友情に感謝申し上げます。プログラムに沿ってスムーズに進めたいと思いますので最後までご協力のほど宜しくお願い致します。ここで少し、この会場の歴史を簡単に説明したいと思います。明治29年竣工、同31年に完成し昭和13年迄の40年間、議事堂として使用されました。現在は和歌山県指定有形文化財に指定されています。初代県議会議長は濱口儀兵衛、稲村の火で有名な「濱口梧陵」であります。詳しくはこの建物に展示されていますので時間の許す方は後程ご覧になっていただきたいと思ひます。さて、本日は青少年交換長期受入学生や帰国学生、留学予定者、そしてこの春より堺のホテルに就職しました元米山記念奨学生のスピーチもありますので、最後まで楽しんで頂ければ幸いです。

『青少年による発表』

☆青少年交換長期受入学生
ソフィア様 (出身アメリカ)
和歌山県立那賀高等学校



☆次年度長期派遣学生
津村理子様
和歌山県立那賀高等学校



☆2015~16年度青少年交換長期派遣学生
関西外国語大学 学生
ミンザック・珠代様
アメリカへ留学



☆2016~17年度米山記念奨学会 奨学生
アゴーラリージェンシーホテル堺勤務 李江鎬様 (韓国出身)



◎ 講評 R I 2640 地区青少年交換委員 水崎哲男



今回の5クラブ合同例会では青少年交換留学生の3名と米山奨学生の1名から発表をいただきました。現在留学中のソフィアさんは日本の留学を準備する間もなく来日して、日本語が難しく大変苦労しましたが、あと2ヶ月というところまで来て充実した実感を感じつつ生活しています。津村さんはこの8月よりアメリカに1年間留学に行かれます。

今、英語力のことで最大にプレッシャーを感じていますが、楽しい体験の数々が待っています。希望と勇気を持って行かれることでしょう。そして学業の都合でビデオレターとなりましたミンザックさんは1年間のアメリカ留学を終えてきたばかりです。彼女の父はカナダ人でカナダの親戚ともっと会話が出来るようになりたいというきっかけからこのプログラムに参加しましたが、英語の習得以上に積極性を身につけて帰国されました。大きな成長です。李さんは米山奨学生として岩出RCが担当しました。彼は粉河RC主催の第九合唱に参加し、練習に半年間、堺市より来ました。そこに彼の日本の生活、習慣を受け入れようとする姿勢を感じます。現在、堺で仕事に従事されていますが、彼は「もし韓国で危機があれば帰らなければならない。」と、そのきっぱりと語る言葉の中に留学によって一層強くなった祖国を愛する気持ちが伝わります。4名のスピーチで私たちは大きく成長する若者を今、目の当たりに見ることが出来ます。ロータリー活動の意義を大いに感じる時であります。そして、これからも皆さんと活動を推進していきたいと思えます。

旧和歌山県議会議事堂は、和歌山城の東側、和歌山市一番丁に明治31年(1898)に建設された、和歌山県会の議事堂建築である。木造二階建、瓦葺屋根、間口31m、奥行47m、建築面積1,248平方メートルの大規模な建造物で、当時、市内有数の壮麗なる白木の建物と評された。議事堂は正面より本館、議場、控室の各部に分かれる。本館には接見室、議長室、議員休憩室などが設けられた。議場は正面に床の間が構えられ、上部には彫刻飾りを設けた唐破風が付く。議場を土間廊下で取り巻き、2階には傍聴席が設けられた。控室は高等官控所や参事会員室、県庁員控所などが設けられた。当時の県庁舎は和歌山城西側の汀丁にあり、洋風意匠の木造建築であったが、議事堂は腰に下見板を張り、壁を漆喰塗、屋根を瓦葺とした和風意匠で建てられた。外観に洋風要素は見られないが、大空間を造るために、小屋組には洋式のトラス構造が採用されている。

昭和13年(1938)に議場を備えた現県庁舎が完成すると、同16年に市内美園町、同37年には岩出市の根来寺に移築された。度重なる移築で各所が改造されたが、平成24~27年度の保存整備事業によって、建築当初の姿に復原した。本建造物は木造和風意匠の県会議事堂として現存最古であり、近代の和歌山県政史を物語る遺構として価値が高い。

(和歌山県教育委員会より)

